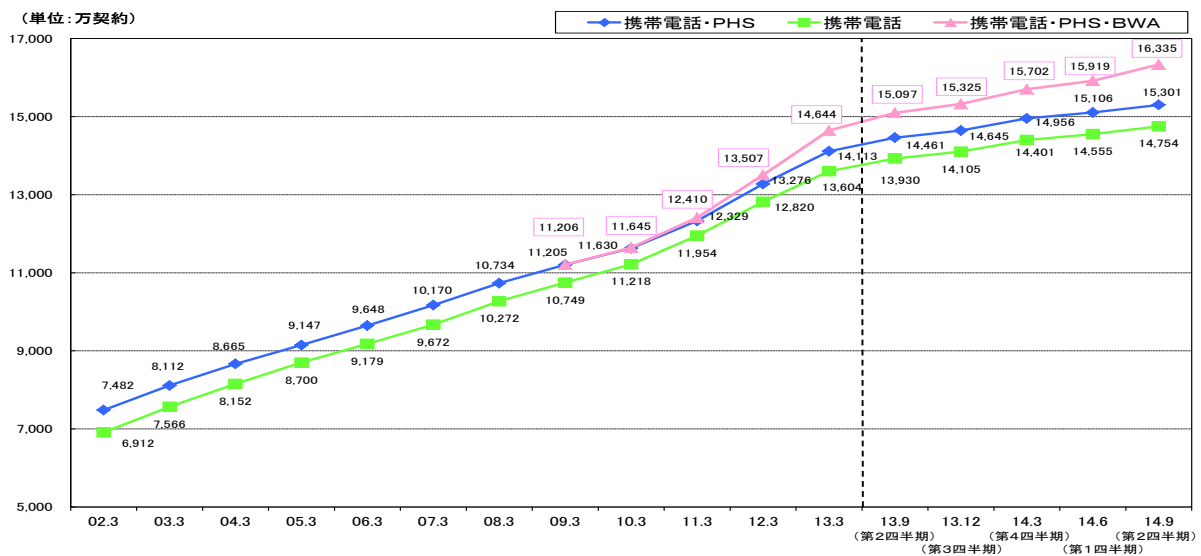


1 移動系通信

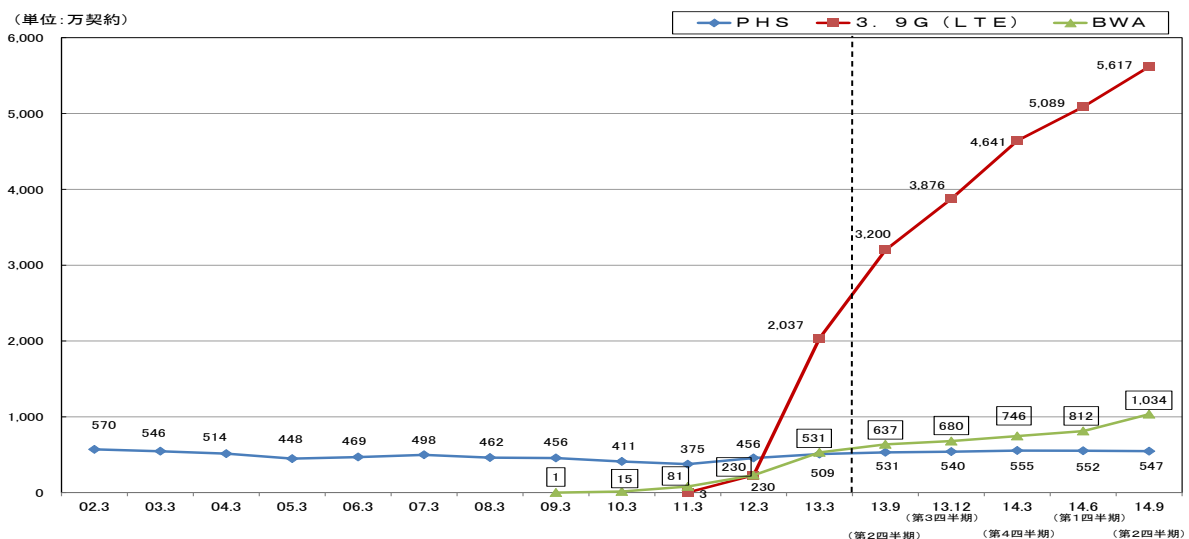
(1) 携帯電話・PHS・BWA (MVNOを含む。)

- 携帯電話・PHS・BWAの契約数は1億6,335万（前期比+2.6%、前年同期比+8.2%）であり、その内数である携帯電話は1億4,754万（前期比+1.4%、前年同期比+5.9%）、PHSは547万（前期比▲0.8%、前年同期比+3.0%）、BWAは1,034万（前期比+27.3%、前年同期比+62.4%）となっている。
- 3.9世代携帯電話（LTE）の契約数は5,617万（前期比+10.4%、前年同期比+75.5%）で、携帯電話の契約数に占める割合は38.1%（前期比+3.1ポイント、前年同期比+15.1ポイント）となっている。
- 携帯電話・PHS・BWAの契約数における事業者別シェアについて、NTTドコモは39.4%（前期比▲0.6ポイント、前年同期比▲1.6ポイント）、KDDIは25.5%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.4ポイント）、ソフトバンクモバイルは22.7%（前期比▲0.2ポイント、前年同期比+0.1ポイント）となっている。

携帯電話・PHS・BWAの契約数の推移



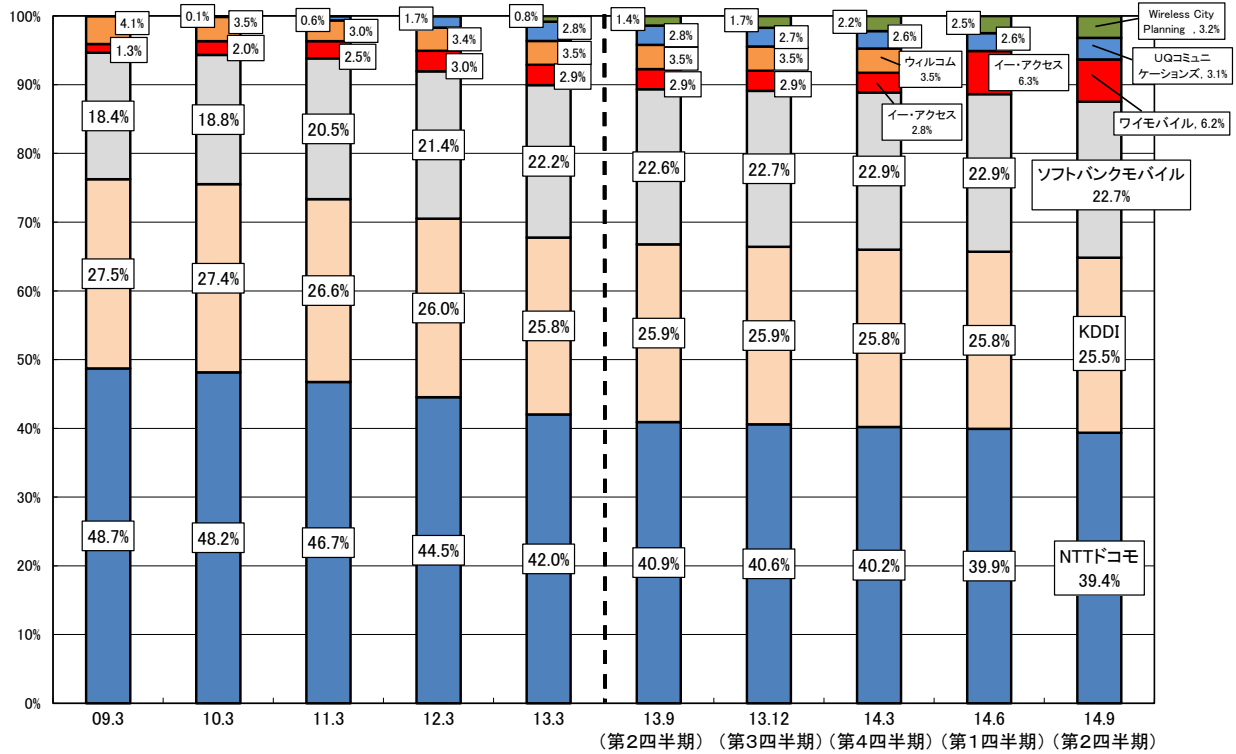
PHS・BWA・3.9G (LTE)の契約数の推移



注1：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。以下同じ。

注2：携帯電話・PHS・BWAの総数には、それぞれのMVNOの契約数も含む。

携帯電話・PHS・BWAの契約数における事業者別シェアの推移（個社別）



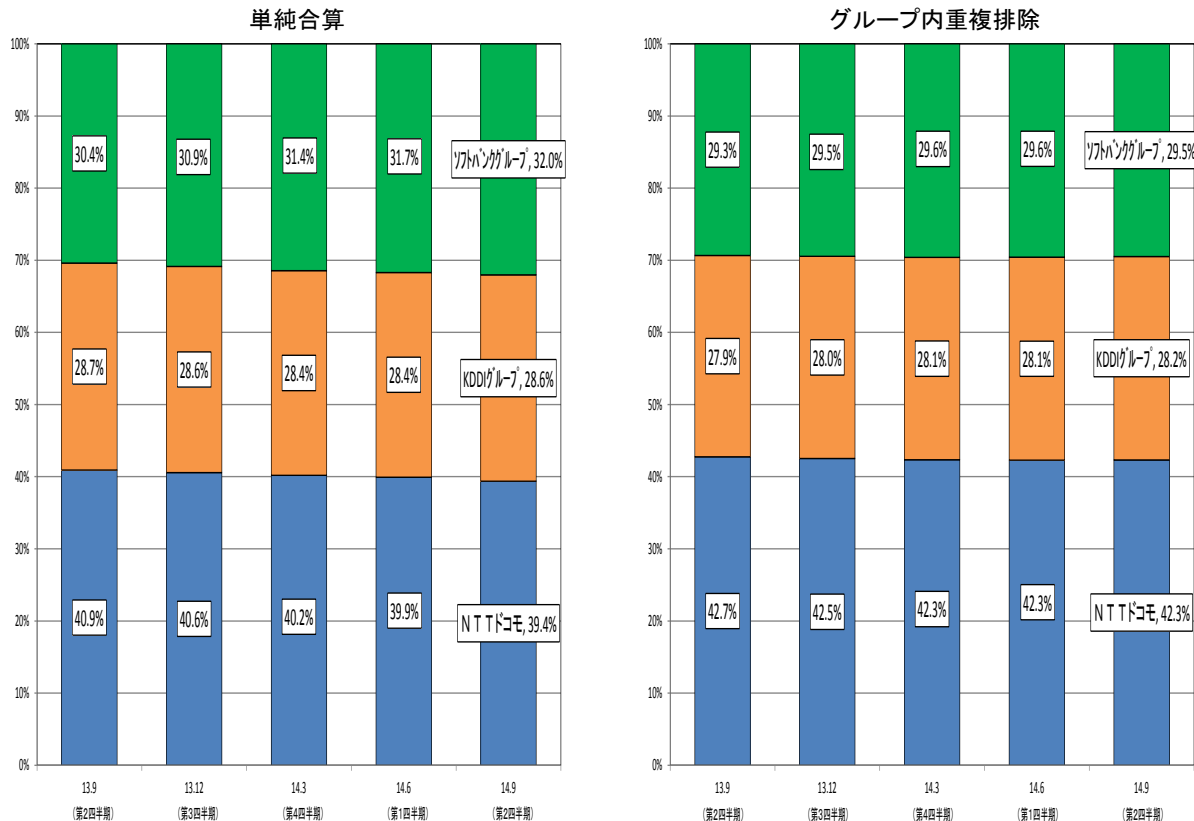
注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。以下同じ。

注2：KDDIのシェアには、沖縄セルラーが含まれる。

注3：イー・アクセスは2014年6月1日付けでワイコムを吸収合併。その後、同年7月1日付けでワイモバイルに社名変更している。以下同じ。

注4：シェアの算定に当たっては、MNOであるMVNOとの間の契約を含む契約数を使用しているため、利用者との間においては一つの契約となっているものが、複数のMNOでそれぞれ計上されている場合がある。

携帯電話・PHS・BWAの契約数における事業者別シェアの推移（グループ別）

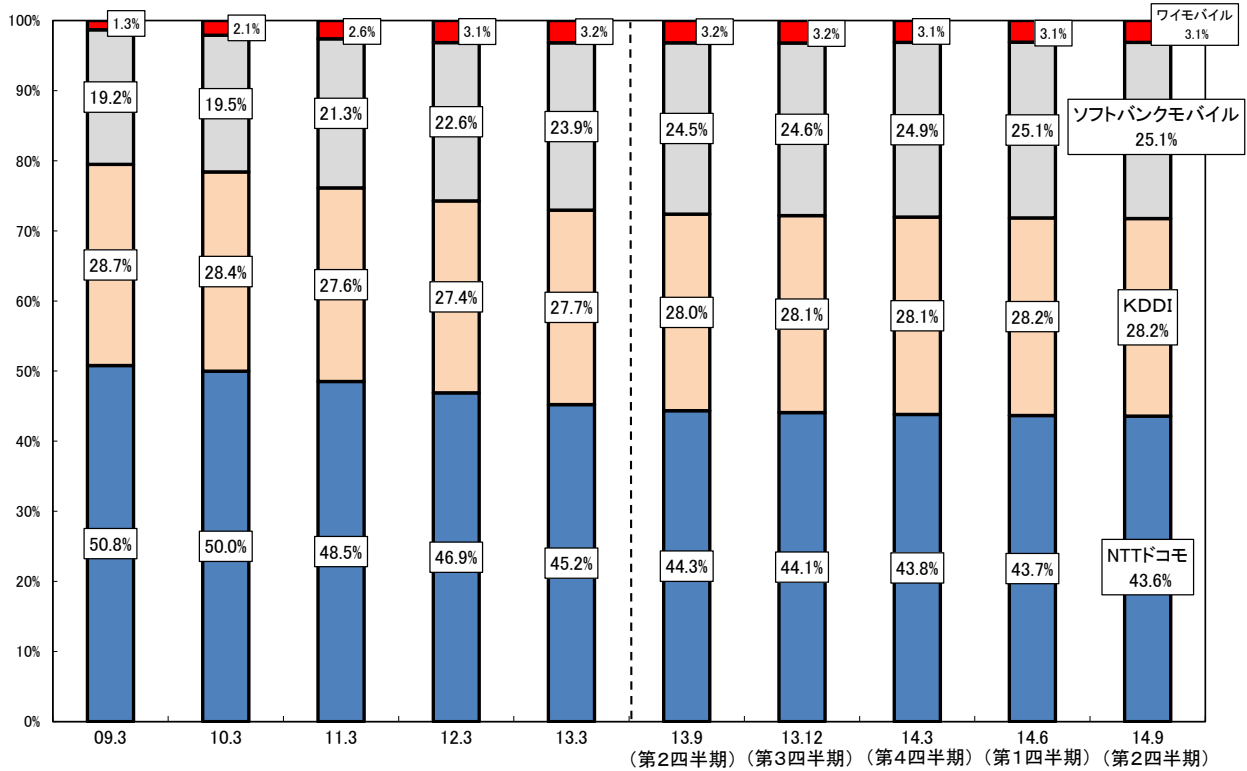


注1：KDDIグループのシェアには、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。

注2：ソフトバンクグループのシェアには、ワイモバイル及びWireless City Planningが含まれる。

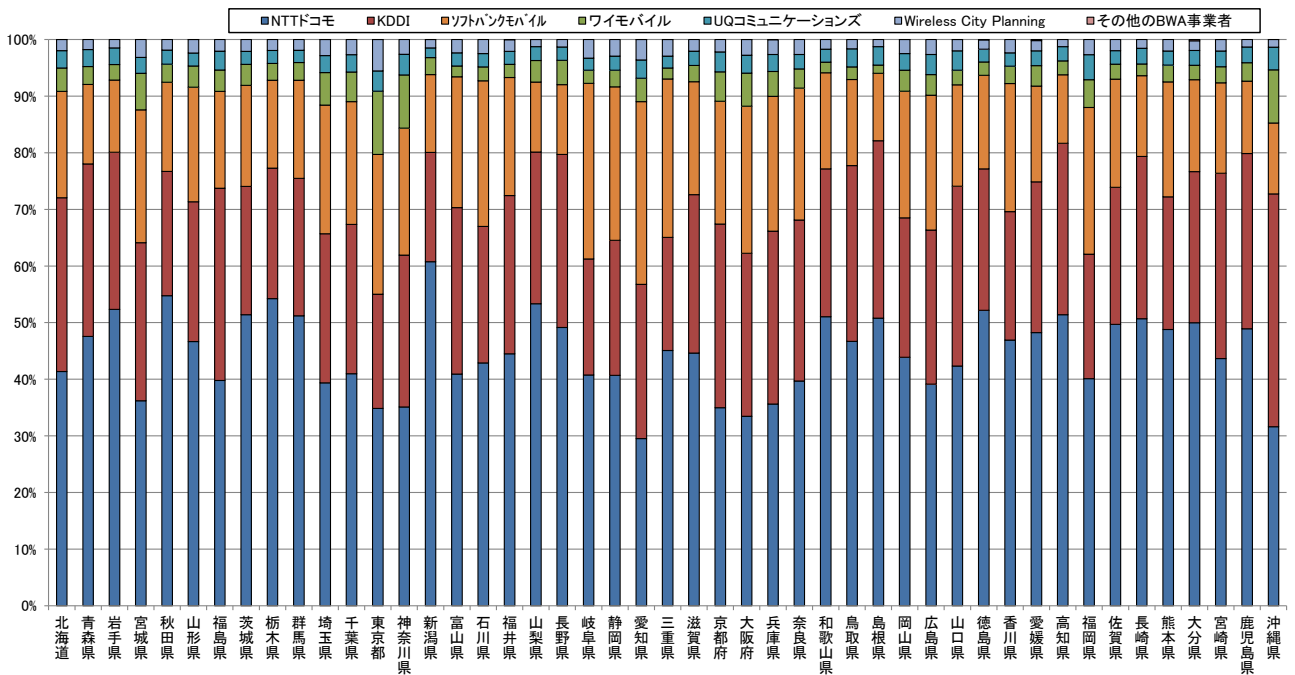
注3：グループ内重複排除については、重複したグループ内契約数を排除したものとなっているため、個社別のシェアを単純合算した場合の数字とは異なってくる。

携帯電話の契約数における事業者別シェアの推移



注：2011年3月末までは一般社団法人電気通信事業者協会資料による。

携帯電話・PHS・BWAの契約数における都道府県別事業者シェア

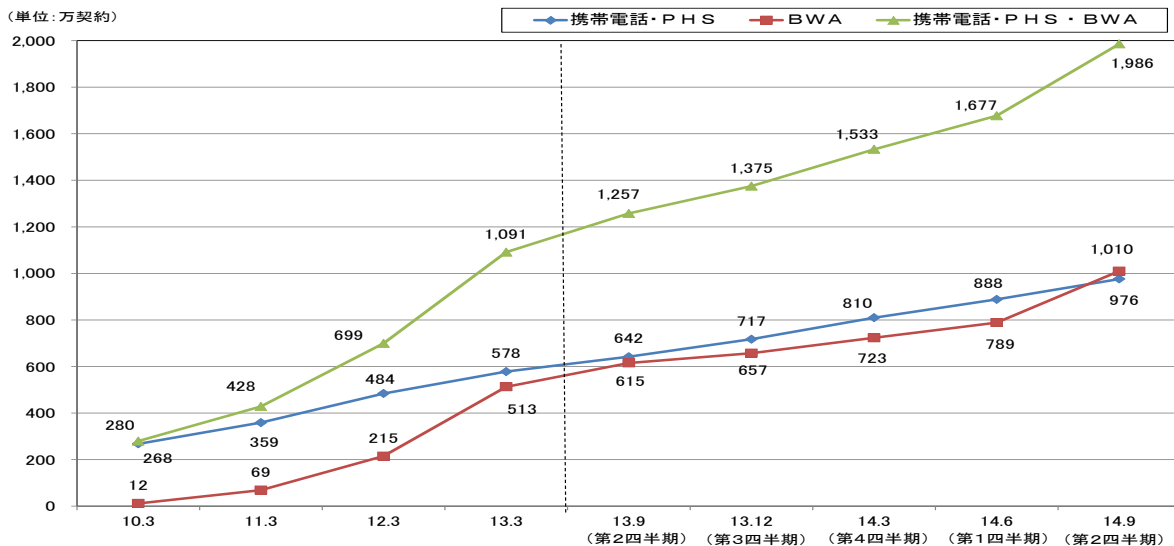


注：都道府県別のシェアについてはグラフのみ公表。

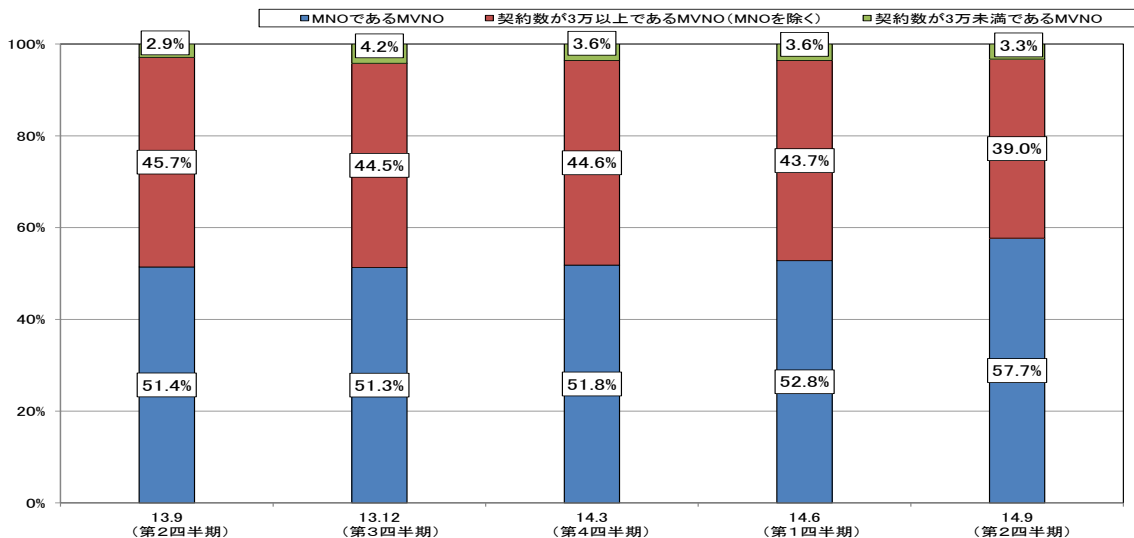
(2) MVNO

- MVNOサービス全体の契約数（携帯電話・PHS・BWAの契約数の内数）は、1,986万（前期比+18.4%、前年同期比+57.9%）となっている。
- 携帯電話・PHSに係るMVNOサービスの契約数（携帯電話・PHS契約数の内数）は976万（前期比+9.8%、前年同期比+52.0%）、BWAに係るMVNOサービスの契約数（BWA契約数の内数）は1,010万（前期比+28.1%、前年同期比+64.1%）となっている。
- MVNOサービスの契約数における内訳について、MNOであるMVNOは57.7%（前期比+4.9ポイント、前年同期比+6.3ポイント）、契約数が3万以上であるMVNO（MNOを除く）は39.0%（前期比▲4.6ポイント、前年同期比▲6.7ポイント）となっている。
- MVNOサービスの事業者数は169社（前期比+4社）となっている。

MVNOサービスの契約数の推移



MVNOサービスの契約数における内訳の推移



2 データ通信

(1) 移動系

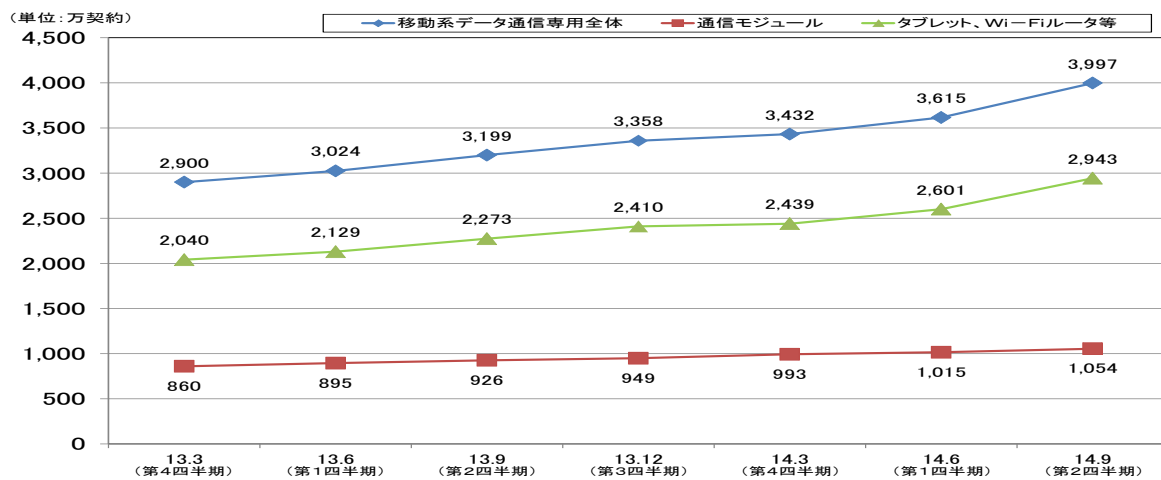
○ 移動系データ通信専用サービス*1の契約数は3,997万（前期比+10.6%、前年同期比+25.0%）となっており、通信モジュール*2は1,054万（前期比+3.9%、前年同期比+13.8%）、タブレット、Wi-Fiルータ等は2,943万（前期比+13.2%、前年同期比+29.5%）となっている。

○ 移動系データ通信専用サービスの契約数における内訳について、携帯電話・PHSは74.1%（前期比▲3.4ポイント、前年同期比▲6.0ポイント）、BWAは25.9%（前期比+3.4ポイント、前年同期比+6.0ポイント）となっている。

*1 携帯電話・PHSアクセスサービスのうち、提供する回線において音声伝送役務が提供されていないもの及びBWAアクセスサービスの合計。

*2 通信モジュールとは、自動販売機、デジタルフォトフレーム等の機器に組み込み、機械同士のデータ通信等に利用される部品（モジュール）をいう。

移動系データ通信専用サービスの契約数の推移

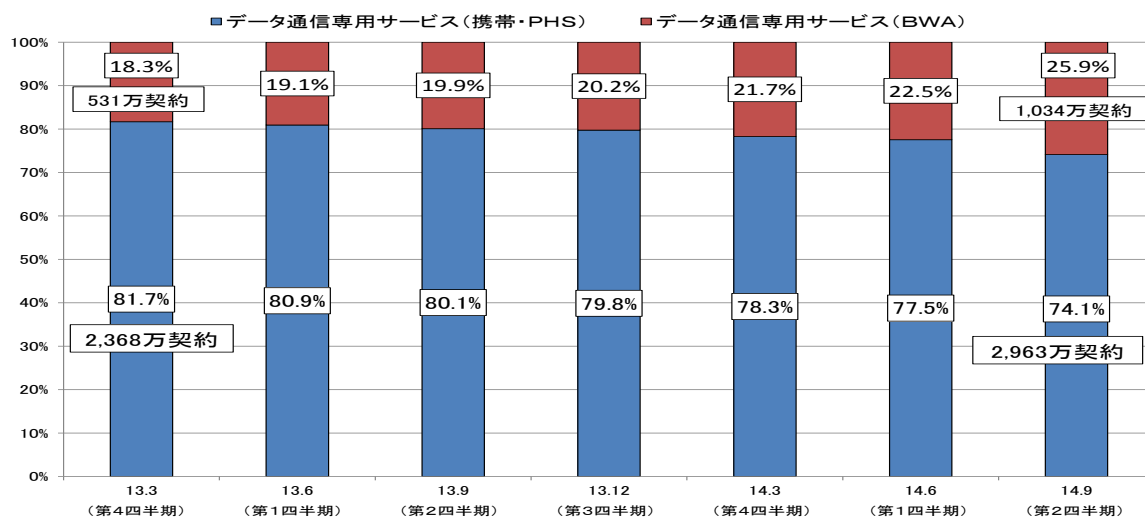


【参考】

(単位: 万契約)

	2013年3月末	2013年6月末	2013年9月末	2013年12月末	2014年3月末	2014年6月末	2014年9月末
移動系データ通信全体	14,557	14,784	15,022	15,245	15,632	15,852	16,271
定額制料金	9,294	9,471	9,630	9,779	10,001	10,118	10,429

移動系データ通信専用サービスの契約数における内訳の推移



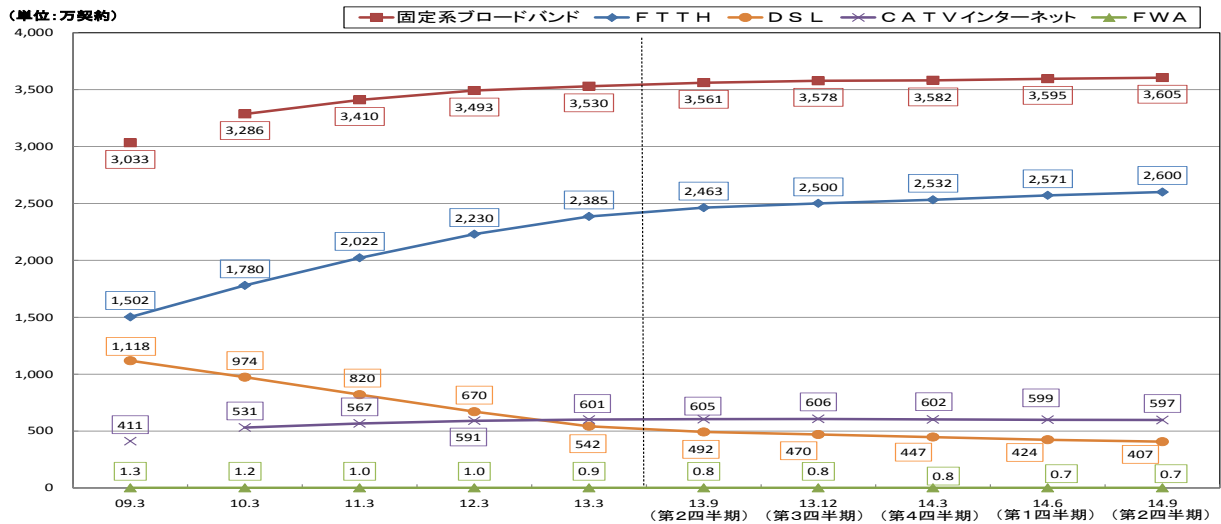
(2) 固定系

① ブロードバンド全体

- 固定系ブロードバンドサービス※の契約数は3,605万（前期比+0.3%、前年同期比+1.2%）となっている。
- 固定系ブロードバンドの契約数におけるNTT東西のシェアは、54.9%（前期比±0ポイント、前年同期比+0.6ポイント）となっている。

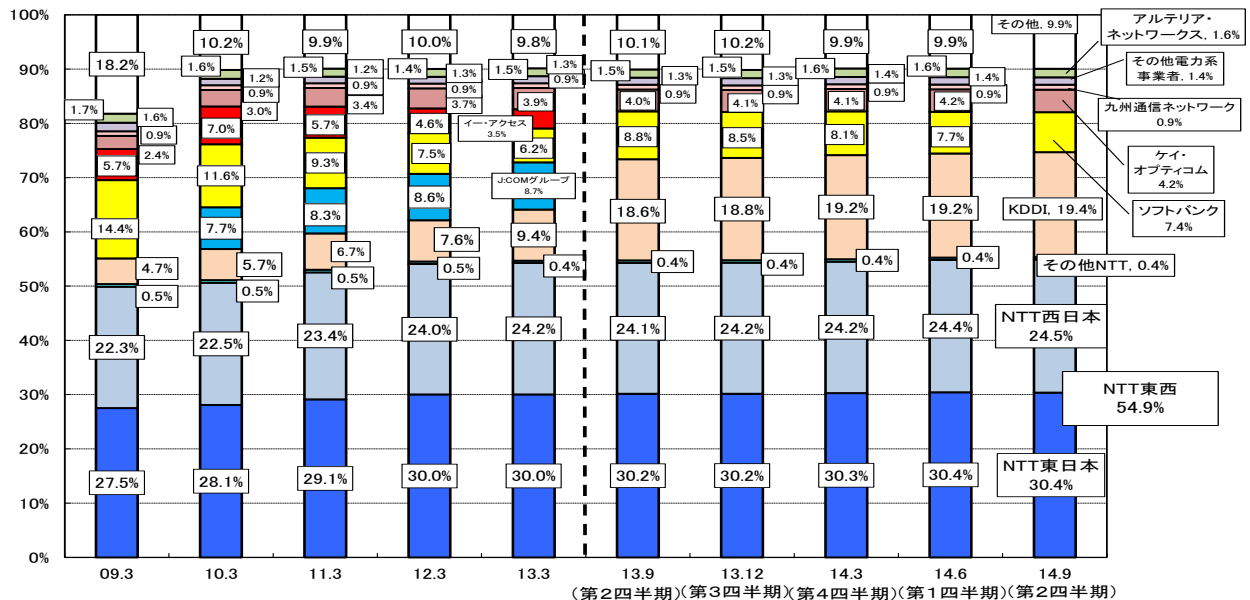
※ F T T Hアクセスサービス、DSLアクセスサービス、CATVアクセスサービス及びFWAアクセスサービスの合計。

固定系ブロードバンドサービスの契約数の推移



注：一部の事業者より契約数について集計方法の変更が報告されたため、2010年3月末の固定系ブロードバンド合計及びCATVインターネットの契約数及びシェアについて、前期との間で変動が生じている。

固定系ブロードバンドサービスの契約数における事業者別シェアの推移



注1：この固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAアクセスサービスを含んでいない。

注2：イー・アクセスのシェアには、アッカ・ネットワークス（2009年度以降）の契約数が含まれる。以下この「2 データ通信」において同じ。

注3：KDDIのシェアには、沖縄セルラー、JCN、CTC、OTNet（2009年度第4四半期以降）及びJ：COMグループ（2013年度第1四半期以降）が含まれる。また、ソフトバンクのシェアには、ワイモバイル（2013年度第1四半期以降）が含まれる。以下この「2 データ通信」の(2)①及び②において同じ。

注4：J：COMグループのシェアについては、2008年度第4四半期までは、その他を含む。

注5：その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

注6：その他電力系事業者のシェアには、北海道総合通信網、東北インテリジェント通信、北陸通信ネットワーク、四国通信ネットワーク、エネルギー・コミュニケーションズ、ファミリーネット・ジャパン、テブコシステムズ及びケイオプティ・サイバーポート（2010年度第4四半期まで）が含まれる。以下同じ。

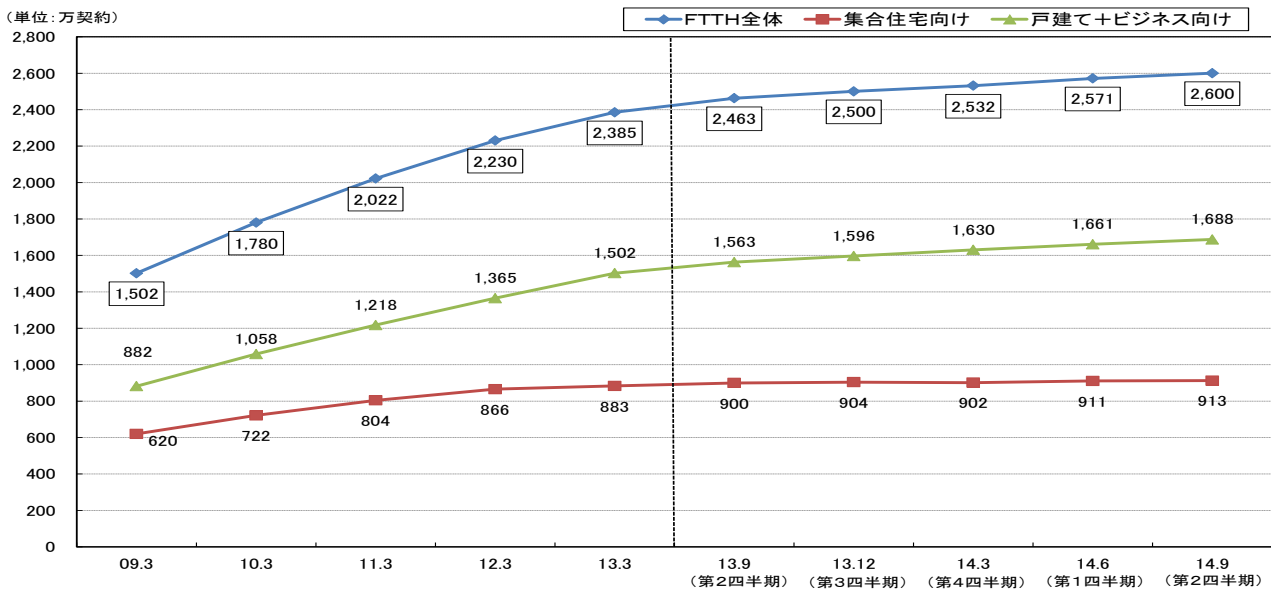
注7：NTT東西のシェアについては、四捨五入の関係上、グラフ中の合計値と合わない場合がある。以下同じ。

注8：UCOMは丸紅アクセスソリューションズと合併し、アルテリア・ネットワークスに社名変更（2013年度第4四半期以降）。以下同じ。

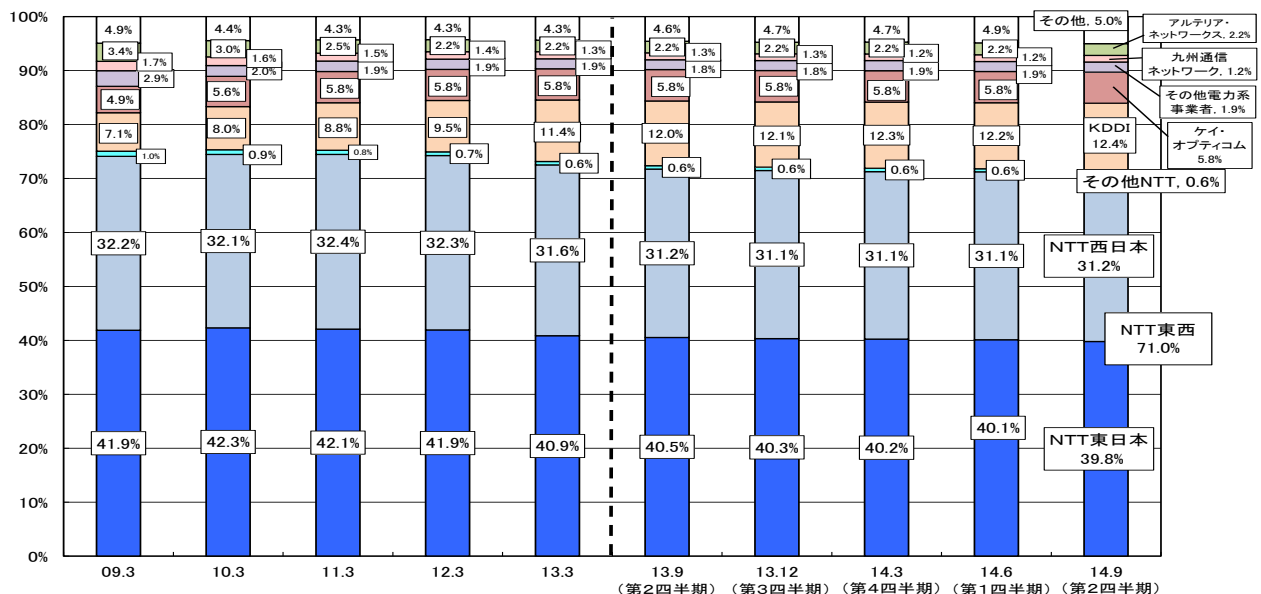
② FTTH

- FTTHの契約数は2,600万(前期比+1.1%、前年同期比+5.6%)となっている。
- FTTH(全体)の契約数における事業者別シェアについて、NTT東西は71.0%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.8ポイント)、KDDIは12.4%(前期比+0.2ポイント、前年同期比+0.4ポイント)、ケイ・オプティコムは5.8%(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)、九州通信ネットワークは1.2%(前期比、前年同期比ともに±0ポイント)、その他電力系事業者は1.9%(前期比、前年同期比ともに±0ポイント)となっている。
- NTT東西のシェアについて、FTTH(戸建て+ビジネス向け)は71.3%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.1ポイント)、FTTH(集合住宅向け)は70.4%(前期比、前年同期比ともに▲0.2ポイント)となっている。

FTTHの契約数の推移



FTTHの契約数における事業者別シェアの推移(全体)

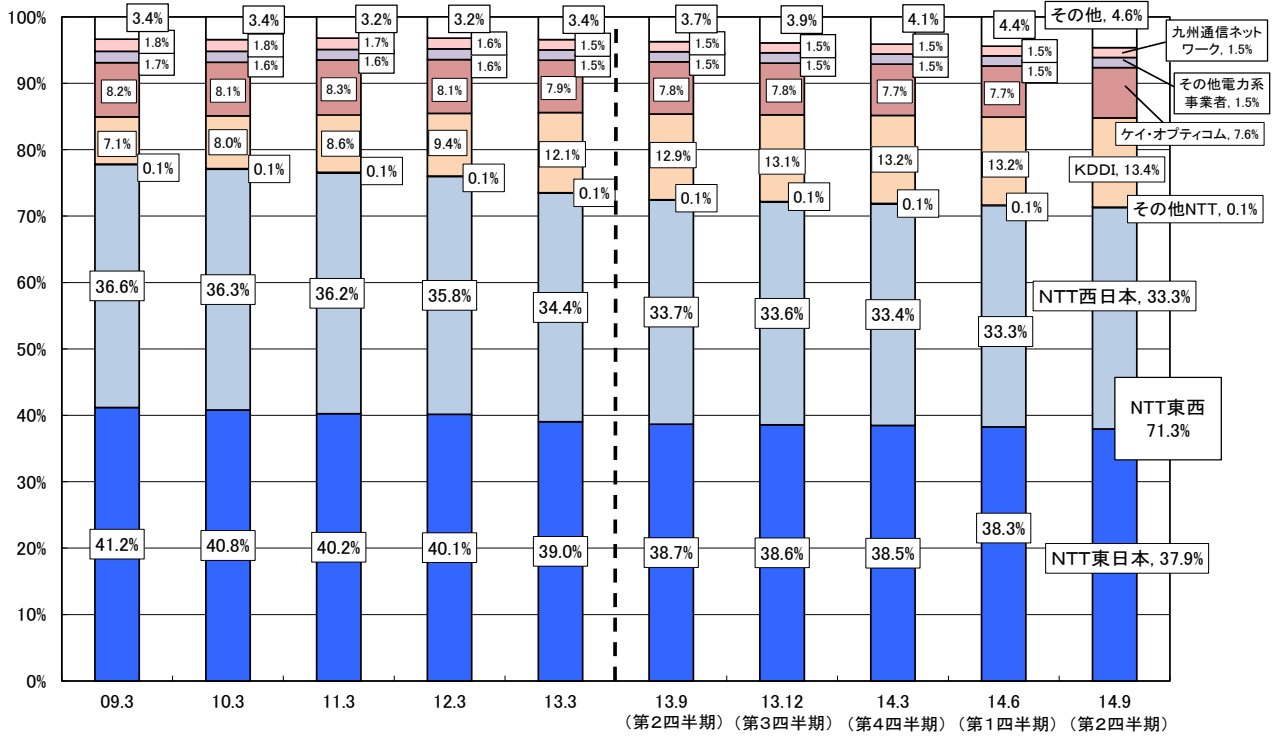


注1: J:COMグループのシェアについては、2012年度第4四半期まではその他に、2013年度第1四半期以降はKDDIを含む。

以下この「2 データ通信」の(2)②において同じ。

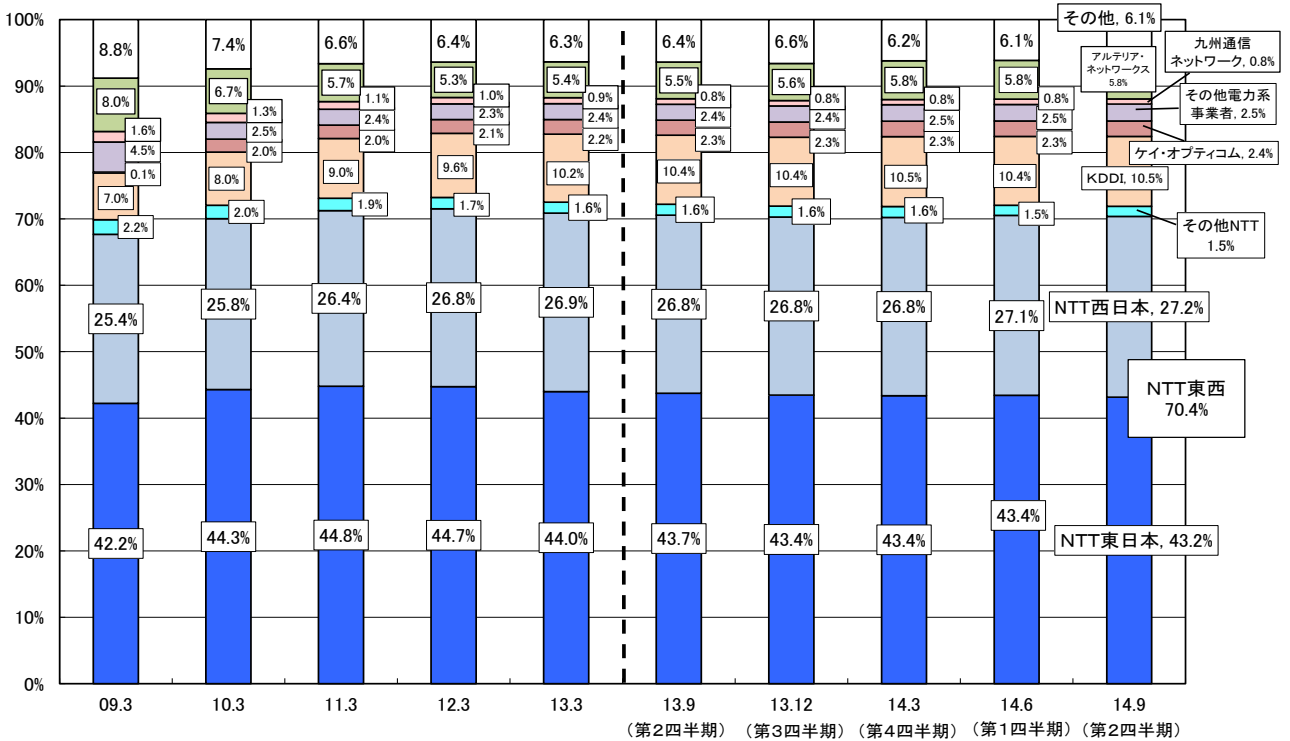
注2: その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T Hの契約数における事業者別シェアの推移（戸建て+ビジネス向け）



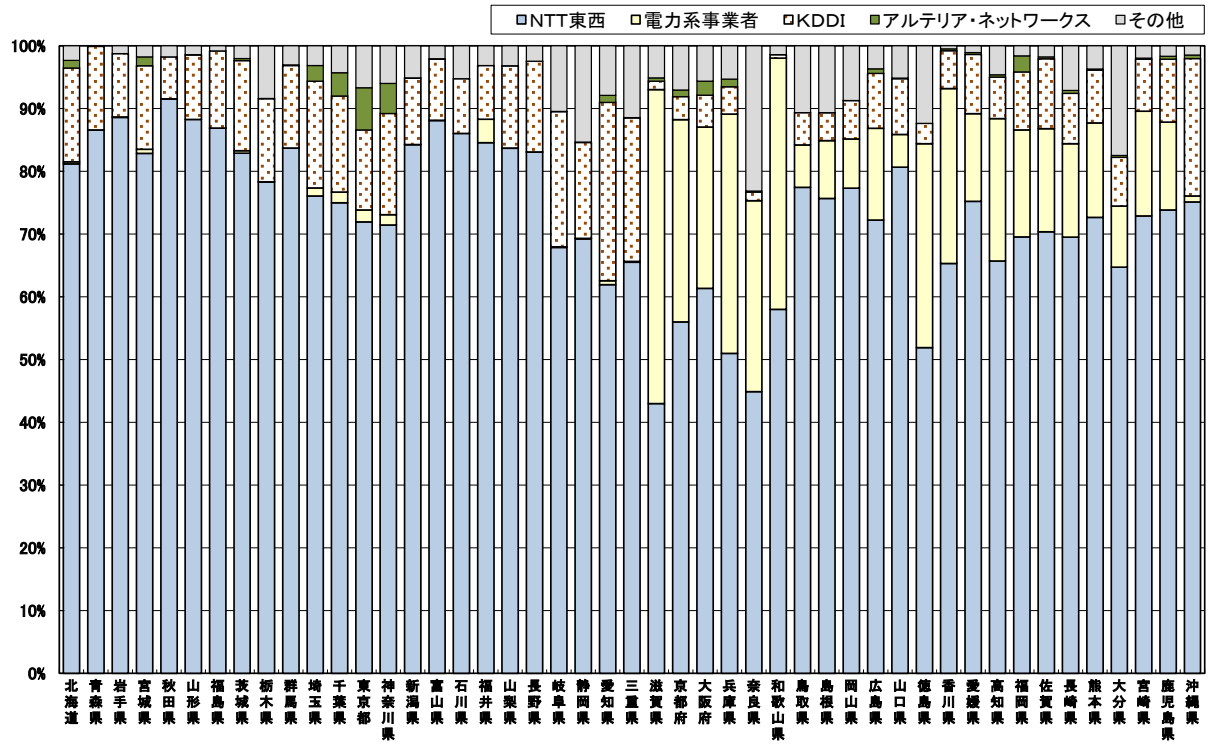
注：その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T Hの契約数における事業者別シェアの推移（集合住宅向け）



注：その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T H 全体の契約数における都道府県別事業者シェア

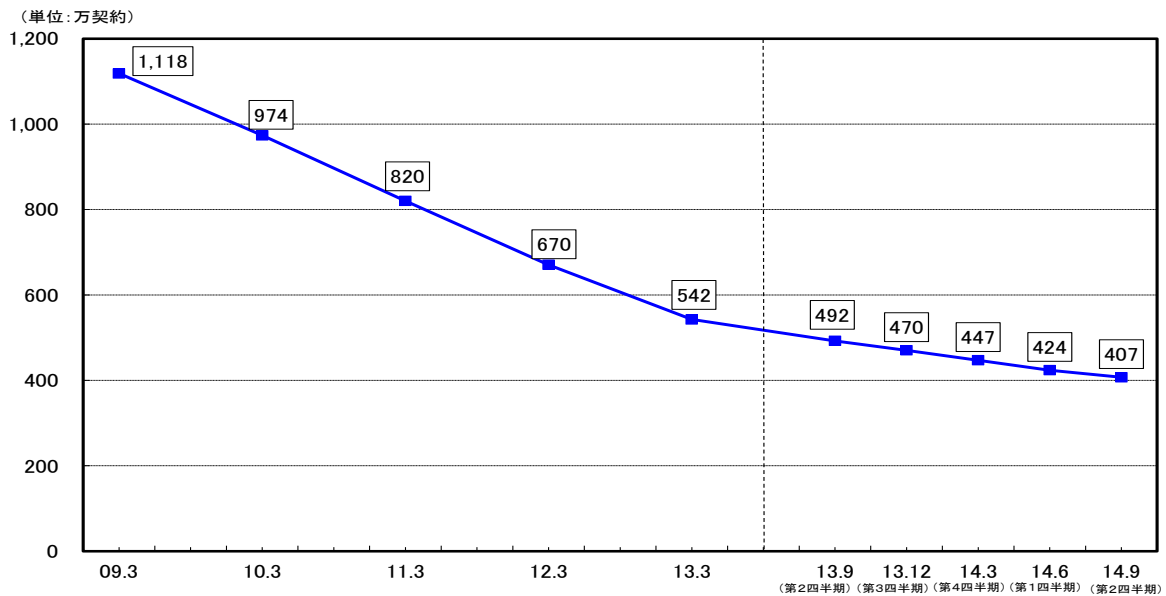


注：都道府県別のシェアについてはグラフのみ公表。

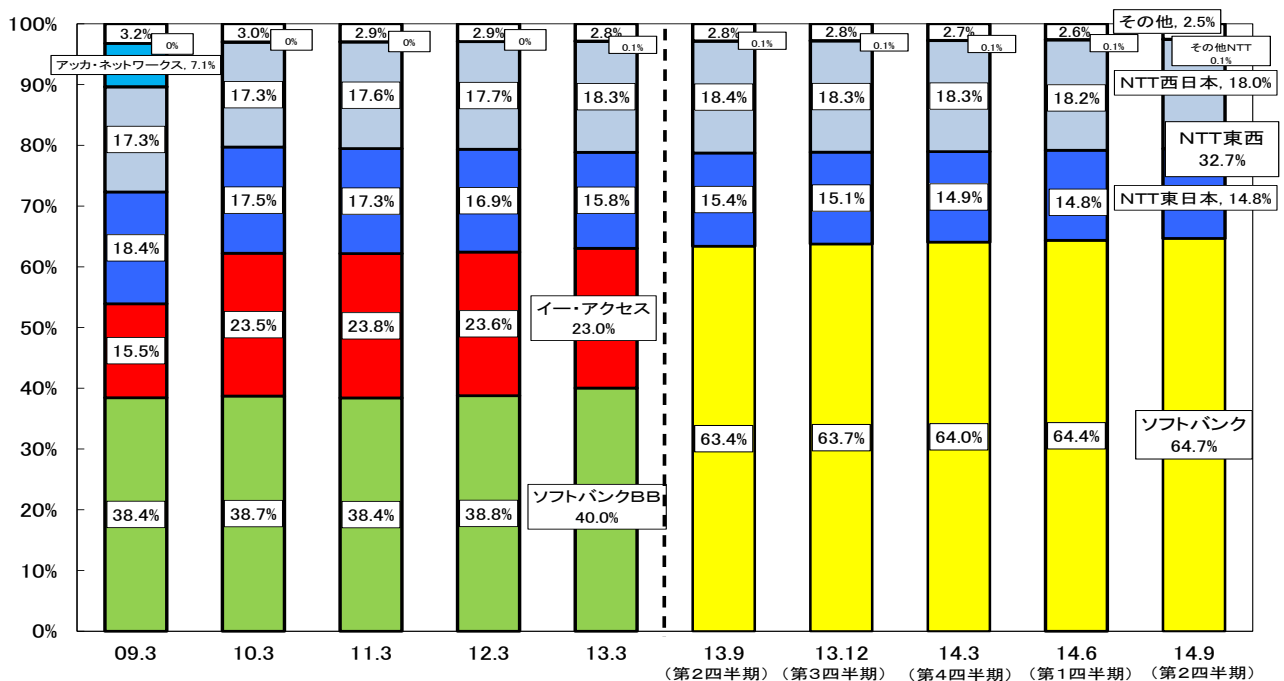
③ DSL

- DSLの契約数は407万（前期比▲4.0%、前年同期比▲17.3%）となっている。
- DSLの契約数における事業者別シェアについて、ソフトバンクは64.7%（前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.3ポイント）、NTT東西は32.7%（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.0ポイント）となっている。

DSLの契約数の推移



DSLの契約数における事業者別シェアの推移



注1：ソフトバンクのシェアについては、ソフトバンクBB及びワイモバイルを合算している（2013年度第1四半期以降）。

注2：その他NTTのシェアにはNTTビジネスソリューションズが含まれる。

注3：その他NTTのシェアについて、2008年度第4四半期～2011年度第4四半期は、0.05%未満のため、0.0%として表示している。

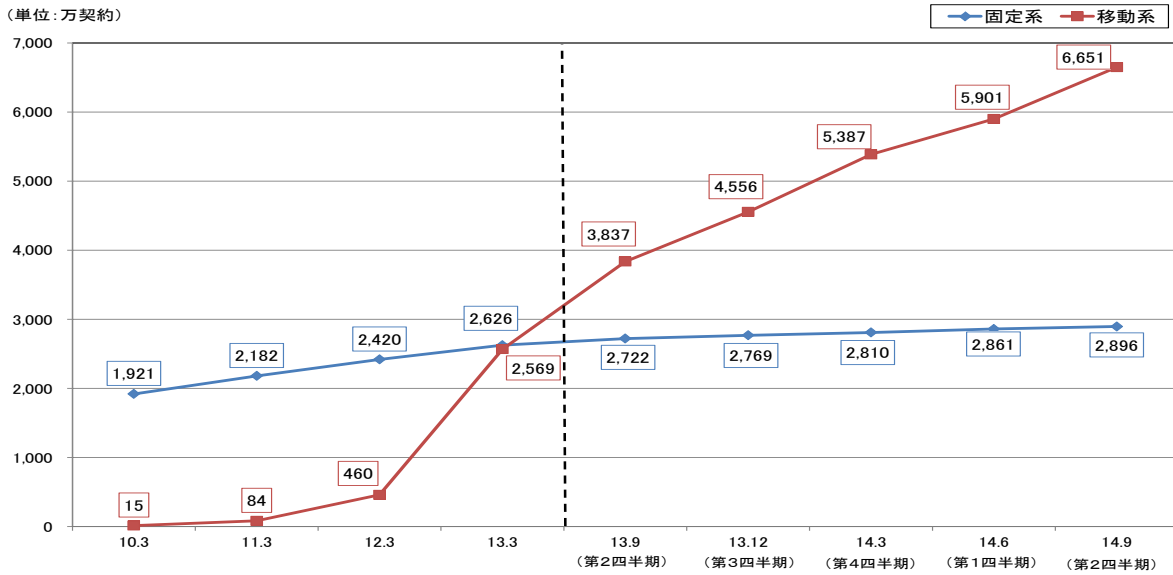
(3) 超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移

○ **固定系超高速ブロードバンドサービス^{※1}の契約数は2,896万（前期比+1.2%、前年同期比+6.4%）であり、移動系超高速ブロードバンドサービス^{※2}の契約数は6,651万（前期比+12.7%、前年同期比+73.3%）となっている。**

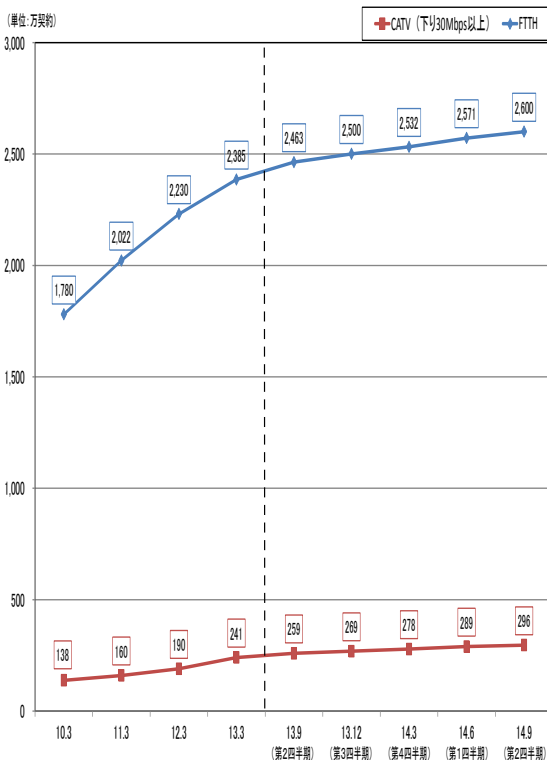
※1 F T T Hアクセスサービス及び通信速度下り30Mbps以上のCATVアクセスサービスの合計。

※2 3.9Gアクセスサービス及びBWAアクセスサービスの合計。

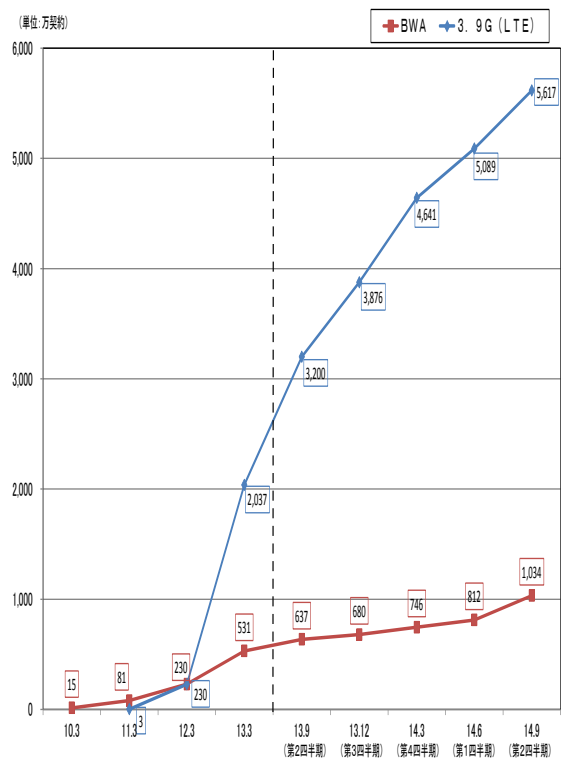
超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移



固定系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移



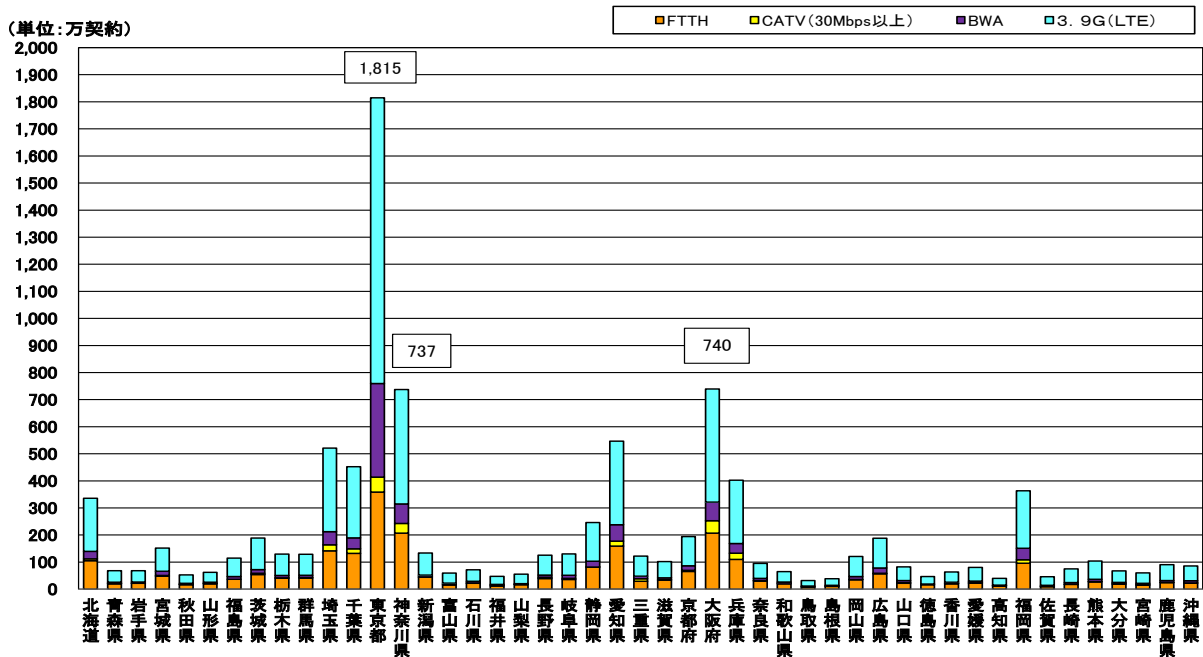
移動系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移



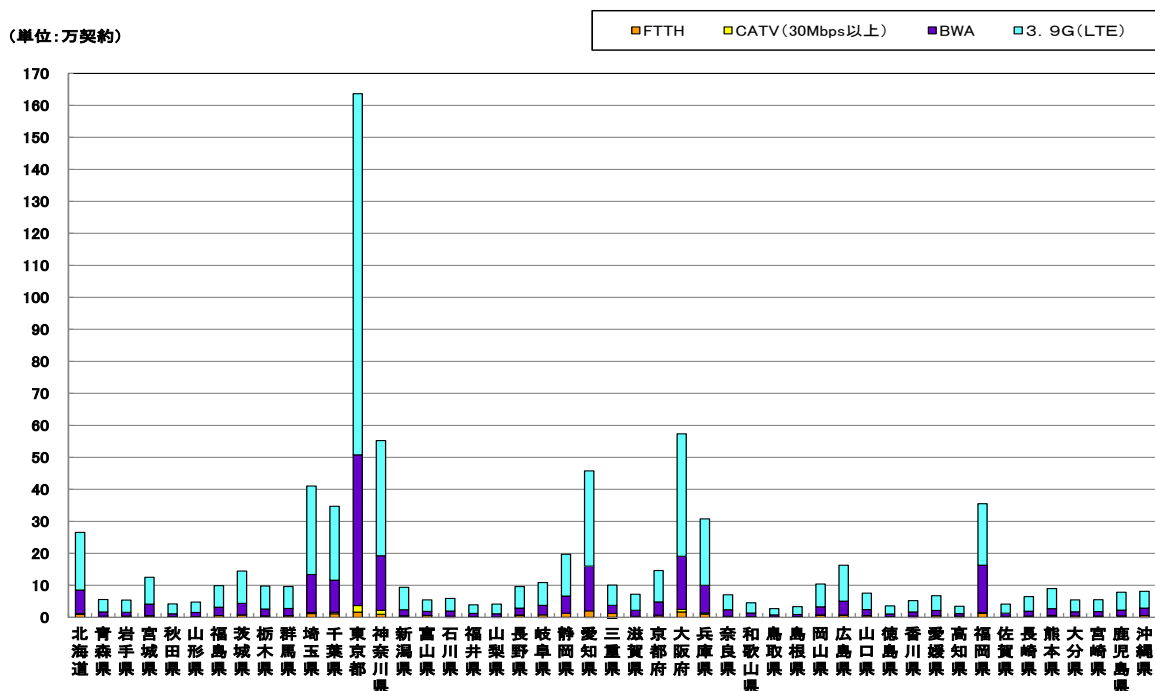
(4) 超高速ブロードバンドサービスの都道府県別契約数等

- FTTHの契約数は全ての都道府県で増加し、CATVアクセスサービス（通信速度下り30Mbps以上）の契約数は11の県で減少している（対前期比）。
- 3.9世代携帯電話（LTE）が全ての都道府県で最も高い割合を占めている。

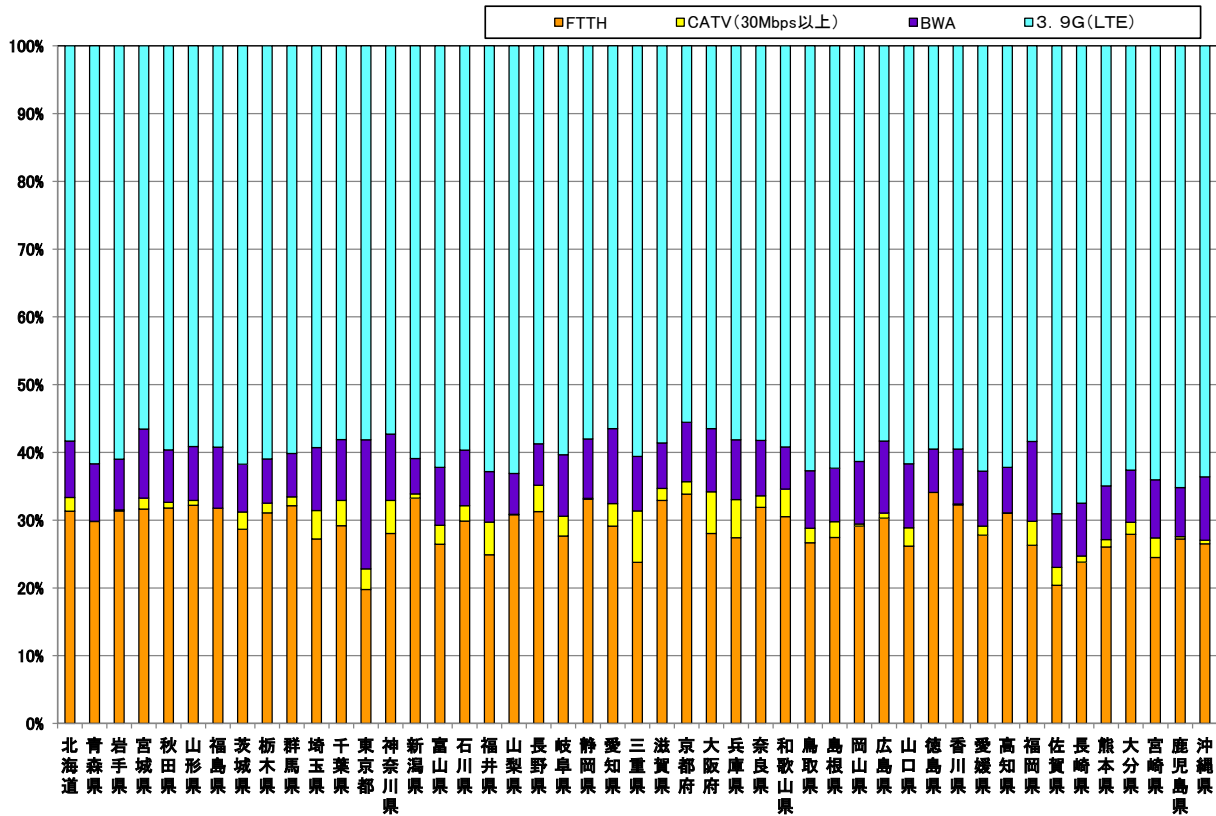
超高速ブロードバンドサービスの都道府県別の契約数



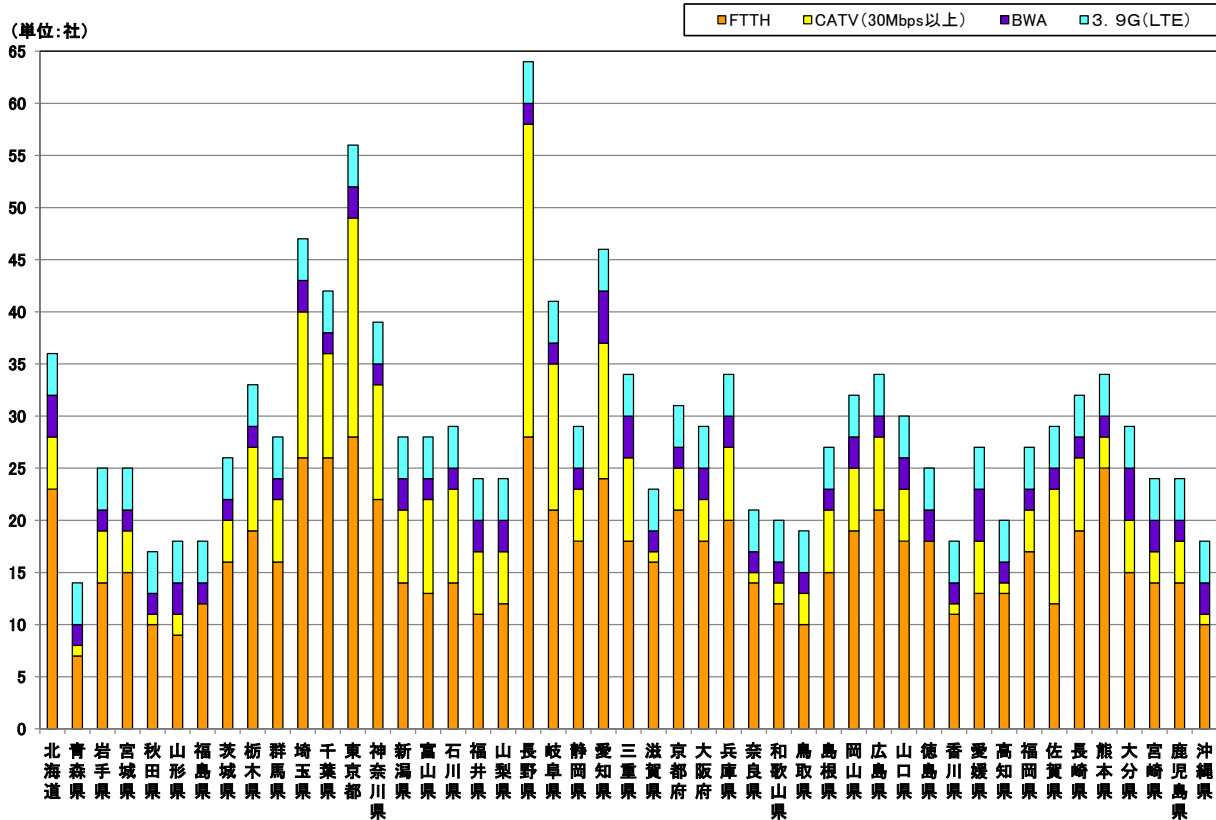
超高速ブロードバンドサービスの都道府県別の純増減数（対前期比）



都道府県別の超高速ブロードバンドサービス別内訳



超高速ブロードバンドサービスの都道府県別提供事業者数



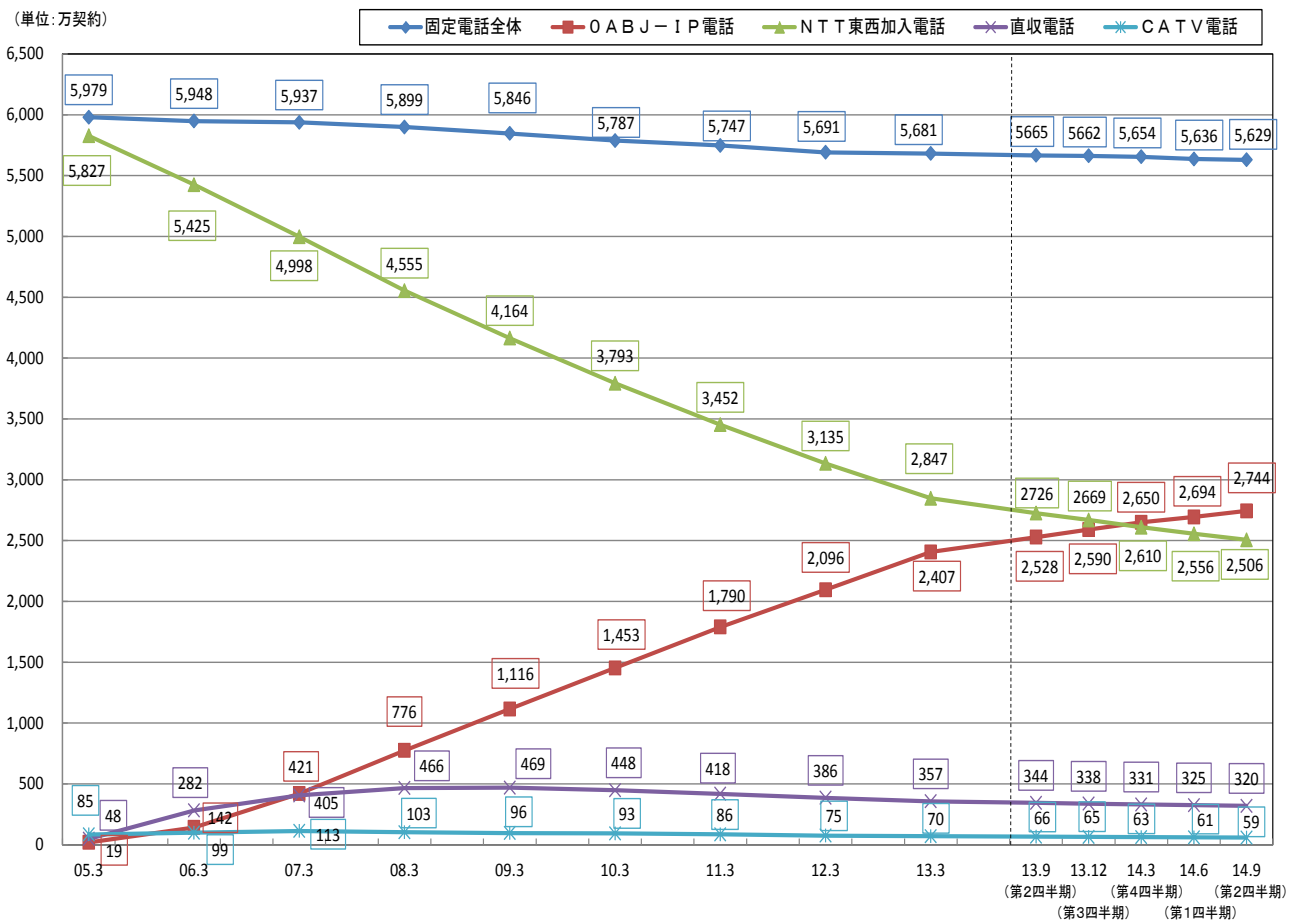
3 音声通信（固定系）

(1) 固定電話

- **固定電話***全体の契約数は 5,629 万（前期比▲0.1%、前年同期比▲0.6%）となっている。このうち、**NTT東西加入電話**は 2,506 万（前期比▲2.0%、前年同期比▲8.1%）、**OABJ-IP電話**は 2,744 万（前期比+1.9%、前年同期比+8.5%）となっている。
- 固定電話契約数全体のシェアについて、**NTT東西**（NTT東西加入電話及びNTT東西OABJ-IP電話の合計）は 73.9%（前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲1.5ポイント）、**KDDI**は 18.9%（前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.1ポイント）となっている。
- **固定電話全体からOABJ-IP電話を除いた契約数**は、2,885 万（前期比▲1.9%、前年同期比▲8.0%）となっている。

※ NTT東西加入電話（ISDNを含む）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、OABJ-IP電話及びCATV電話を指す。

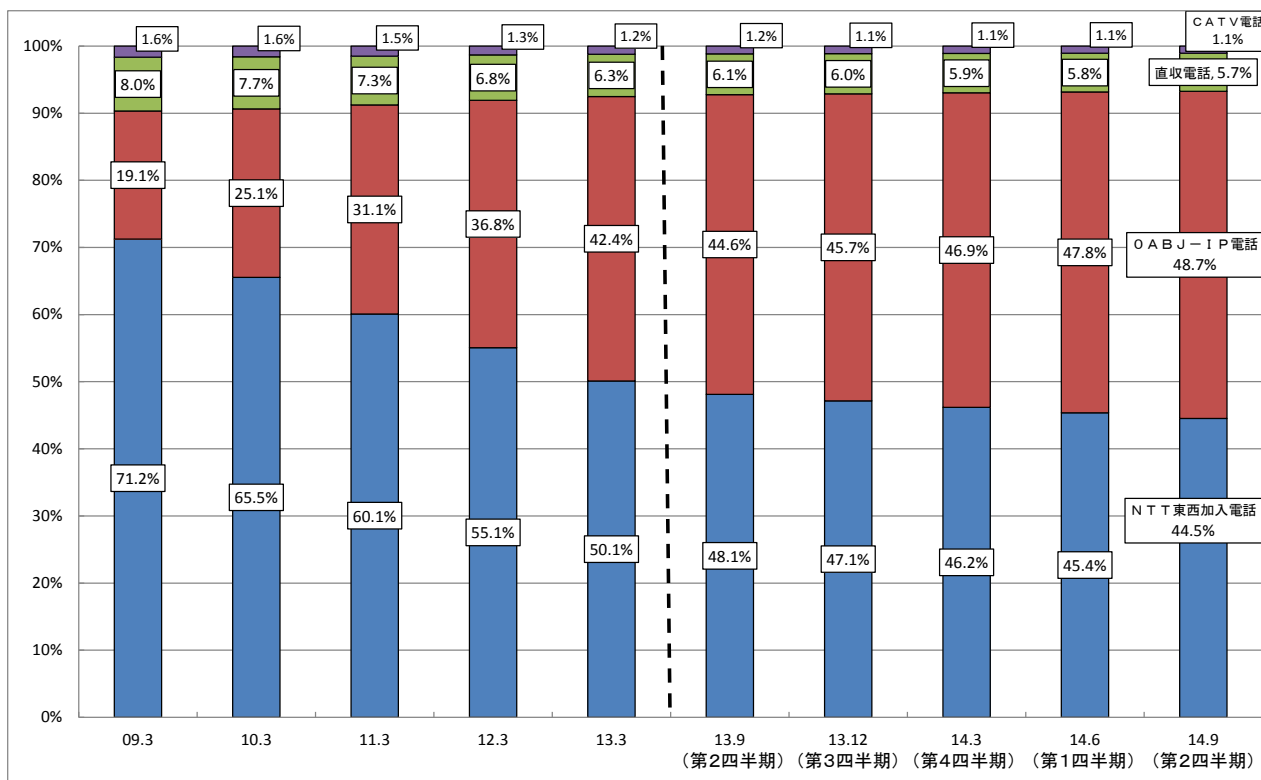
固定電話の契約数の推移



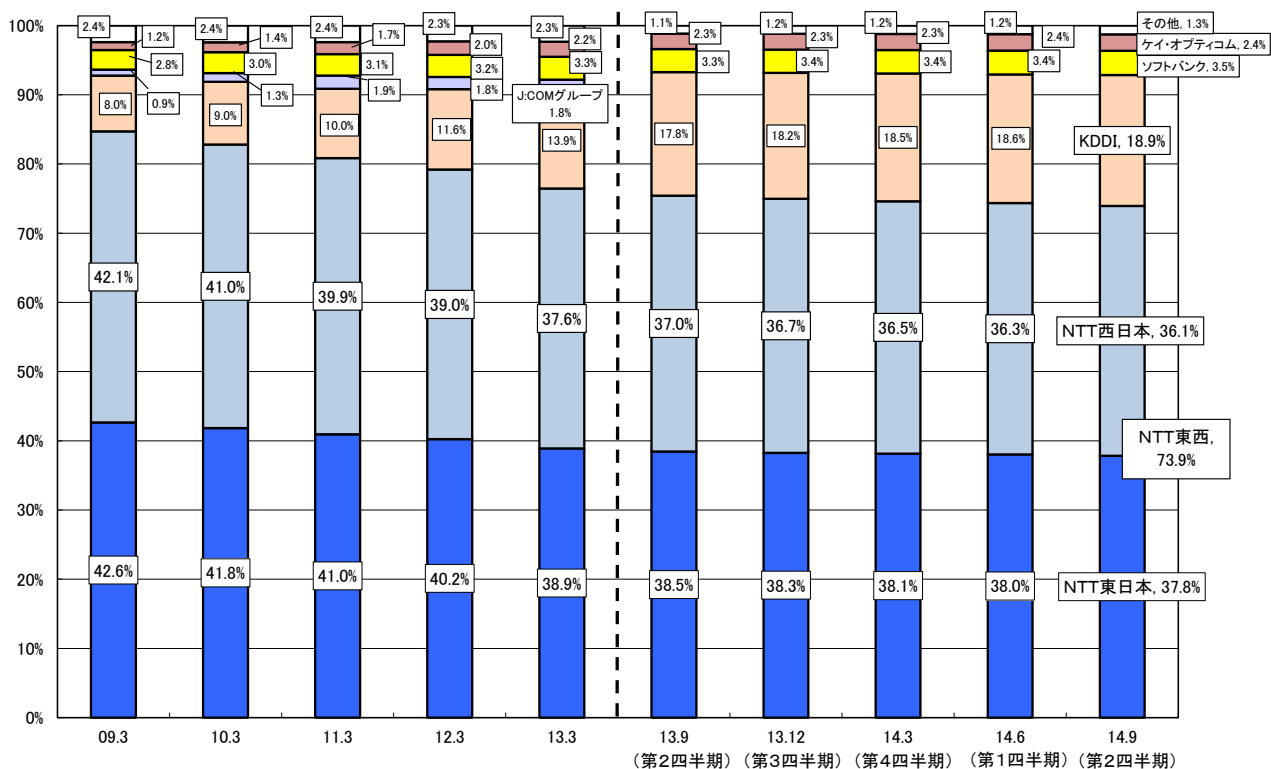
注1：「OABJ-IP電話」は、利用番号数をもって契約数と見なしている。なお、OABJ-IP電話はNTT東西加入電話等との代替性が高いため固定電話に加えたが、IP電話としてもP.16以降に再掲している。

注2：「CATV電話」は、CATV事業者が提供する固定電話サービスのうちアナログ電話を計上している。なお、CATV事業者が提供するIP電話については「OABJ-IP電話」に計上している。以下同じ。

固定電話の契約数におけるサービス別内訳の推移



固定電話の契約数における事業者別シェアの推移



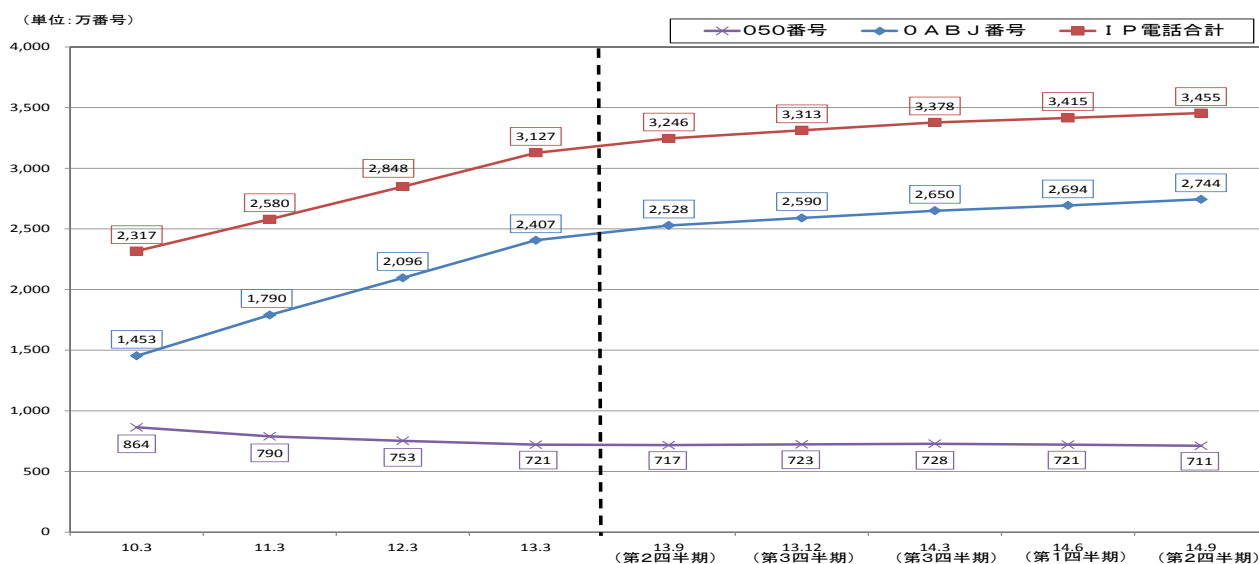
注1：NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む）、OABJ-IP電話の合計を示す。

注2：KDDIのシェアには、CTC及びJ-COMグループ（2013年度第1四半期以降）が含まれる。以下同じ。

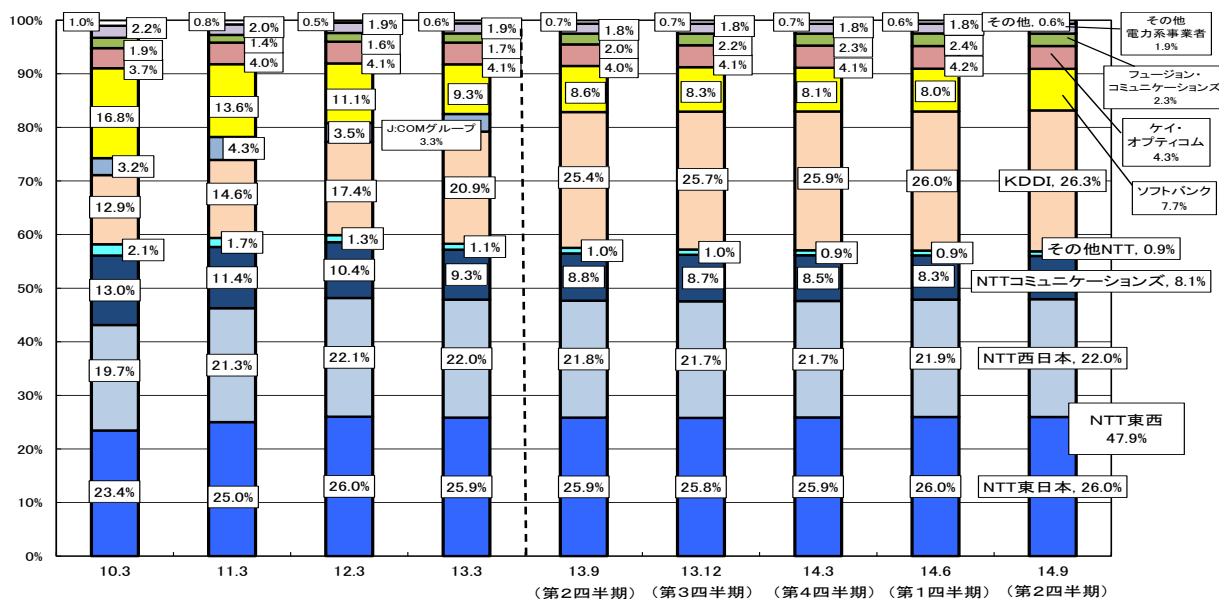
(2) IP電話

- IP電話の利用番号数は3,455万(前期比+1.2%、前年同期比+6.5%)であり、このうち、OABJ番号の利用数は2,744万(前期比+1.9%、前年同期比+8.5%)、O50番号の利用数は711万(前期比▲1.3%、前年同期比▲0.8%)となっている。
- OABJ番号の利用数における事業者別シェアについて、NTT東西は60.4%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.8ポイント)、KDDIは31.3%(前期比+0.3ポイント、前年同期比+0.7ポイント)となっている。
- O50番号の利用数における事業者別シェアについて、NTTコミュニケーションズは38.9%(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.8ポイント)、ソフトバンクは34.4%(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲2.3ポイント)となっている。

IP電話の利用番号数の推移



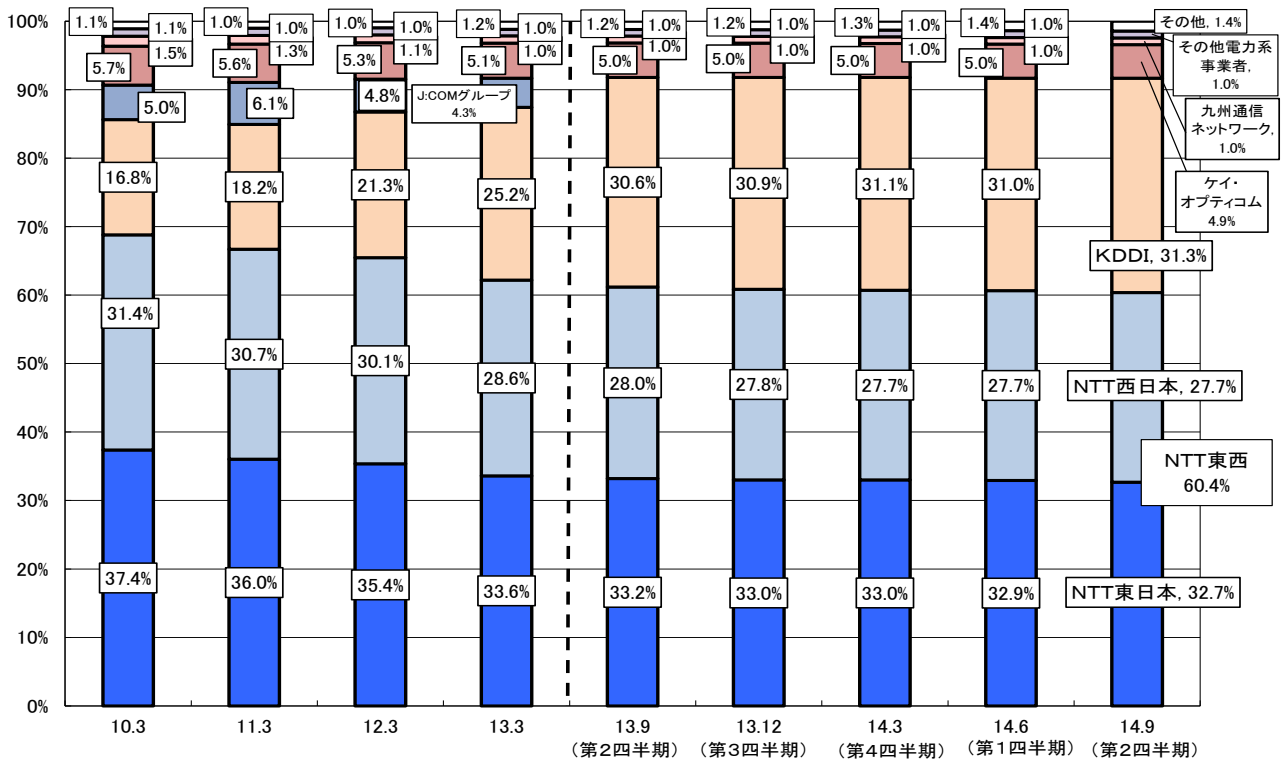
IP電話の利用番号数における事業者別シェアの推移 (全体)



注1: ソフトバンクのシェアには、ソフトバンクBBとソフトバンクテレコムが含まれる。以下同じ。

注2: その他NTTのシェアには、NTTぷらら、NTT-ME、NTTネオメイト、NTTPCコミュニケーションズ及びNTTドコモが含まれる。以下同じ。

IP電話の利用番号数における事業者別シェアの推移（OABJ番号）



IP電話の利用番号数における事業者別シェアの推移（O50番号）

